

手足口病に関する注意喚起について



令和元年7月3日（水）

担当：福島県保健福祉部 地域医療課

主幹 本田 あゆみ

024-521-7262 内線 2853

福島県感染症発生動向調査週報 2019 年第 26 週（6/24 ～ 6/30）において、県内の小児科定点医療機関（50 医療機関）からの手足口病の報告数は **417件**で、一定点あたり **8.34** 人となり、国が定める警報レベル（一定点あたり5.0人以上）を越えました。また、累計患者数は昨年同時期の **4.7 倍**となっています。

手足口病は、頬の内側や舌、手足などに現れる水疱性の発疹を主症状とした急性ウイルス感染症で、乳幼児を中心に夏季にみられます。多くは数日で回復しますが、まれに髄膜炎などの合併症を引き起こすこともあります。

こまめな手洗いや手指の消毒で感染予防に努めましょう。

記

1 手足口病について

(1) 感染経路

飛沫感染、接触感染、糞口感染（便の中に排泄されたウイルスが口に入って感染すること）が知られています。特に、この病気にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは注意が必要です。

(2) 症状

感染してから、3～5日後に、口の中、手のひら、足底や足背などに2～3mmの水疱性発疹が出ます。発熱は約3分の1程度にみられますが、多くは数日間のうちに治る病気です。しかし、まれに髄膜炎、脳炎などの中枢神経の合併症のほか、心筋炎、急性弛緩性麻痺など、さまざまな症状がでることがあります。また、手足口病の典型的な症状がみられずに重症になることもありますので、注意が必要です。

2 予防対策について

- ① 手洗いは、流水と石けんで十分に洗うこと。
- ② タオルの共用をしないこと。
- ③ おむつ交換等の際には、使い捨て手袋を使用し、排泄物を他の者が触ることのないようビニール袋等に入れ、口をしっかりと閉めること。処理をした後は、手洗いをしっかりと行うこと。

○手足口病は治っても比較的長い間、便の中にウイルスが排出されるので、日頃からのしっかりと手洗いが大切です。

【参考】厚生労働省ホームページ「手足口病に関するQ&A」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/hfmd.html>

福島県衛生研究所（福島県感染症情報センター）ホームページ「感染症トピックス」（手足口病について）

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/333989.pdf>